

# 《现代汉语词典》と《现代汉语词典 修订本》における轻声語の扱い の変化について

小 川 郁 夫

1. はじめに
2. 轻声語のピンイン表記について
3. “便当”“桌子”型から“因为”“夫人”型に移行した語
4. その他の移行
5. 《汉语拼音词汇》のピンイン表記
6. おわりに

## 1. はじめに

中国で1978年に発行された《现代汉语词典》の改訂版である《现代汉语词典修订本》が1996年に発行された。

《现代汉语词典修订本》(以下《修订本》と略称)を《现代汉语词典》(以下《汉语词典》と略称)と比べてみると親字の配列方法、時代を反映した新語の収録と旧語の削除、例文の修正、新しく審査校訂された正音の採用などに変化がみられる。これらは《修订本》でのかなり大きな改訂点と考えられるが、本稿では《汉语词典》と《修订本》における轻声語の扱いの変化について比較し、語学教育面についての若干の考察を加えることとする。

## 2. 轻声語のピンイン表記について

一般に轻声語のピンイン表記は轻声部分に声調記号をつけないことによって示される。

例えば、“便当”の“当”，“桌子”の“子”は轻声で発音されるが、そのピンイン表記は次のように示される。

便当 biàndang          桌子 zhuōzi

ピンインに声調記号の加えられていない“dang”“zi”の部分が轻声を表している。

しかし、《汉语词典》と《修订本》では次のように轻声部分の直前に・を加えるという表記方法を採用している。

便当 biàn•dang          桌子 zhuō•zi

このことについて《汉语词典》と《修订本》には次のような説明がある。

条目中の轻声字，注音不标调号，但在注音前加圆点，如：【便当】biàn•dang；【桌子】zhuō•zi。（項目中の轻声のピンインには声調記号を記さないが、その前に・を加える。例えば【便当】biàn•dang；【桌子】zhuō•zi。）

また《汉语词典》と《修订本》には・を用いて次のように表した語も存在する。

因为 yīn•wèi          夫人 fū•rén

このことについて《汉语词典》《修订本》には次のような説明がある。

一般轻读，间或重读的字，注音上标调号，注音前再加圆点，如【因为】注作 yīn•wèi，表示‘因为’的‘为’字一般轻读，有时也可以读去声。（一般に轻声で発音するが時として強く発音することもある字にはピンインに声調記号を記し、さらにその前に・を加える。例えば【因为】は yīn•wèi と記し、‘因为’の‘为’は一般に

軽声で発音するが時として第4声で発音してもよいことを示す。)

《汉语词典》と《修订本》における軽声語のピンイン表記については、“便当 biàn•dang” “桌子 zhuō•zi” 型、すなわち・の後のピンインに声調記号を加えないものと、“因为 yīn•wèi” “夫人 fū•rén” 型、すなわち・の後のピンインに本来の声調記号を加えたものがあるということである。

“因为 yīn•wèi” “夫人 fū•rén” 型は発音方法の説明に幅をもたせたものであり、ある程度中国語を学習した者にとっては便利で説得力をもつ表記方法と言えよう。しかし、発音の規範を示すべき入門期の中国語テキスト編集においては有効な表記方法とは言えない。教授者は個別の単語ごとに軽声または非軽声のどちらでもよいという説明をしなければならなくなり、学習者にとってはそれだけ覚えなければならないことが増えて学習上の負担が大きくなる。以上のような理由からかどうかは分からないが、現在発行されている中国語テキストで軽声表記に関して《汉语词典》《修订本》のように・を用いたものはない<sup>1)</sup>。筆者自身も語学教育用テキストにおいては・を用いた表記方法は採用すべきでないと考えている。

ところが《汉语词典》から《修订本》への改訂にあたって、従来ピンイン表記が“便当”“桌子”型であったものが“因为”“夫人”型に移行している語がかなりある。これは正確な記述を要求される辞典の性質上好ましいことであろう。しかし語学教育の面においては、例えばテキストを編集する場合、編集者は“因为”や“夫人”といった語のピンインについて“yinwèi”“fūrén”とするか、あるいは“yinwei”“furen”とするかの選択を迫られることになる。

このような場合の規準を示してくれる工具書として《汉语拼音词汇》がある。例えば“因为”“夫人”に関して《汉语拼音词汇》では“yinwei”“furen”と表記してあり、発音教育に際して“yinwèi”“fūrén”をとりあえず排除することができる。

《汉语拼音词汇》のピンイン表記については後で述べることにして、以

下ではまず《汉语词典》から《修订本》への改訂にあたり、轻声語のピンイン表記がどのように変化しているかを見ることにする。

### 3. “便当” “桌子” 型から “因为” “夫人” 型に移行した語

《汉语词典》から《修订本》への改訂にあたって、“便当” “桌子” 型から “因为” “夫人” 型に移行した語（フレーズは除く）を以下に挙げる。

	《汉语词典》	《修订本》
肮脏	āng•zang	āng•zāng
白天	bái•tian	bái•tiān
南瓜	bēi•gua	bēi•guā
本钱	běn•qian	běn•qián
变通	biàn•tong	biàn•tōng
别致	bié•zhi	bié•zhì
宾服	bin•fu	bin•fú (「敬服する」の意味)
残疾	cán•ji	cán•jí
成分	chéng•fen	chéng•fèn
船钱	chuán•qian	chuán•qián
裕包	dā•bao	dā•bāo
大拇指	dà•mugē	dà•mǔgē
大拇指	dà•muzhǐ	dà•mǔzhǐ
当铺	dàng•pu	dàng•pù
得罪	dé•zui	dé•zuì
底细	dǐ•xi	dǐ•xì
点缀	diǎn•zhuì	diǎn•zhuì
定钱	dìng•qian	dìng•qián
反正	fǎn•zheng	fǎn•zhèng (「どうせ」の意味)

风水	fēng•shui	fēng•shuǐ
府上	fǔ•shang	fǔ•shàng
干系	gān•xi	gān•xì
横竖	héng•shu	héng•shù
花搭着	huā•da•zhe	huā•dā•zhe
家具	jiā•ju	jiā•jù
缰绳	jiāng•sheng	jiāng•shéng
进深	jìn•shen	jìn•shēn
拘板	jū•ban	jū•bǎn
客人	kè•ren	kè•rén
拉拢	lā•long	lā•lǒng
了不得	liǎo•bu•de	liǎo•bu•dé
迷惑	mí•huo	mí•huò
名士派	míng•shipài	míng•shìpài
内人	nèi•ren	nèi•rén
敲打	qiāo•da	qiāo•dǎ
拳头	quán•tou	quán•tóu
赏钱	shǎng•qian	shǎng•qián
似乎	sì•hu	sì•hū
堂客	táng•ke	táng•kè
体谅	tǐ•liang	tǐ•liàng
体面	tǐ•mian	tǐ•miàn
替换	tì•huan	tì•huàn
挑剔	tiāo•ti	tiāo•tī
痛快	tòng•kuai	tòng•kuài
徒弟	tú•di	tú•dì
下场	xià•chang	xià•chǎng (「結末」の意味)
响声	xiǎng•sheng	xiǎng•shēng

《现代汉语词典》と《现代汉语词典修订本》  
における轻声語の扱いの変化について

小姐	xiǎo•jie	xiǎo•jiě
絮叨	xù•dao	xù•dāo
摇撼	yáo•han	yáo•hàn
摇晃	yáo•huang	yáo•huàng
意见	yì•jian	yì•jiàn
抹布	zhǎn•bu	zhǎn•bù
招惹	zhāo•re	zhāo•rě
折磨	zhé•mo	zhé•mó
症候	zhèng•hou	zhèng•hòu
支撑	zhī•cheng	zhī•chēng
支吾	zhī•wu	zhī•wú
知道	zhī•dao	zhī•dào
侄孙女	zhísūn•nū	zhísūn•nǚ
值得	zhí•de	zhí•dé
中幡	zhōng•fan	zhōng•fān
周到	zhōu•dao	zhōu•dào
周正	zhōu•zheng	zhōu•zhèng
主人	zhǔ•ren	zhǔ•rén

“便当”“桌子”型から“因为”“夫人”型に移行した語がこのように多いことから、《修订本》では轻声語を減らそうとしている傾向のようなものが感じられる。

#### 4. その他の移行

《汉语词典》から《修订本》への移行の種類としては次のように、3に挙げた“便当”“桌子”型から“因为”“夫人”型への移行を(1)として含め、さらに(2)～(6)がある。

- (1) “便当” “桌子” 型から “因为” “夫人” 型になったもの
- (2) “便当” “桌子” 型から非轻声語になったもの
- (3) “因为” “夫人” 型から非轻声語になったもの
- (4) “因为” “夫人” 型から “便当” “桌子” 型になったもの
- (5) 非轻声語から “因为” “夫人” 型になったもの
- (6) 非轻声語から “便当” “桌子” 型になったもの

これらのうち(1)～(3)はその結果、轻声語が減少することになる。また(4)～(6)はその結果、轻声語が増加することになる。

(2)は結局、轻声語であったものが轻声語ではなくなったものである。(2)の例を挙げる<sup>2)</sup>。

	《汉语词典》	《修订本》
吃喝儿	chī•her	chiher
船家	chuán•jia	chuánjia
聪明	cōng•míng	cōngmíng
光润	guāng•run	guāngrùn
近视	jìn•shì	jìnshì
面食	miàn•shì	miànshí
生发	shēng•fa	shēngfā
松动	sōng•dong	sōngdòng
夜猫子	yè•mao•zi	yèmao•zi

(3)の例を挙げる。

	《汉语词典》	《修订本》
操持	cāo•chí	cāochí
插口	chā•kǒu	chākǒu(「ソケット」の意味)
茶水	chá•shuǐ	cháshuǐ

《现代汉语词典》と《现代汉语词典修订本》  
における轻声語の扱いの変化について

车钱	chē•qián	chēqián
程度	chéng•dù	chéngdù
瞅见	chǒu•jiàn	chǒujiàn
景致	jǐng•zhì	jǐngzhì
靠山	kào•shān	kàoshān
夸奖	kuā•jiǎng	kuājiǎng
柔和	róu•hé	róuhé
这些 <sup>3)</sup>	zhè•xiē	zhèxiē

(4)～(6)はその結果、轻声語が増加する場合であるが、(1)～(3)の例に比べて語例が極めて少ない。このことから《修订本》では轻声語を減らそうとしている傾向のようなものが感じられる。

(4)の例を挙げる。

	《汉语词典》	《修订本》
出息	chū•xī	chū•xi
缴裹儿	jiǎo•guǒr	jiǎo•guor
亲戚	qīn•qī	qīn•qi
跳蚤	tiào•zǎo	tiào•zao
先是	xiān•shì	xiān•shi
种子	zhǒng•zǐ	zhǒng•zi

(5)の例を挙げる。

	《汉语词典》	《修订本》
报应	bàoyìng	bào•yìng
茬口	chá•kǒu	chá•kǒu
惦记	diàn•jì	diàn•jì

饭量	fànlìang	fàn•liàng
锅盔	guōkuī	guō•kuī
过节儿	guòjiér	guò•jiér
老气	lǎoqi	lǎo•qi
勒措	lēikuò	lēi•kuò
势头	shìtóu	shì•tóu
通条	tōngtiáo	tōng•tiáo
无意识	wúyìshí	wúyì•shí
下意识	xiàyìshí	xià•yìshí <sup>4)</sup>
阵势	zhènshì	zhèn•shì

(6)は非轻声語が轻声語になったものである。(6)の例を挙げる。

	《汉语词典》	《修订本》
大少爷	dàshàoyé	dàshào•yé
端量	duānliáng	duān•liang
脾寒	píhán	pí•han

## 5. 《汉语拼音词汇》のピンイン表記

ここでは、《汉语词典》から《修订本》への移行(1)の例として3に挙げた語のピンイン表記が《汉语拼音词汇》でどうなっているかを見ていくことにする<sup>5)</sup>。

完全な轻声語として表記されているもの。

肮脏	āngzang	白天	báitiān	北瓜	běiguā
本钱	běnqian	变通	biàntong	别致	biézhì
残疾	cánji	成分	chéngfēn	船钱	chuánqian
裕包	yubao	大拇指	dàmutǒu	大拇指	dàmutǒu

《现代汉语词典》と《现代汉语词典修订本》  
における軽声語の扱いの変化について

当铺	dàngpu	得罪	dézuì	底细	dǐxi
点缀	diǎnzhuì	定钱	dìngqián	反正	fǎnzhèng
风水	fēngshuǐ	府上	fǔshàng	干系	gānxi
横竖	héngshù	花搭着	huādāzhe	家具	jiājū
缰绳	jiāngshéng	进深	jìnshēn	拘板	jūbǎn
客人	kèrén	拉拢	lālong	了不得	liǎobude
迷惑	míhuo	内人	nèirén	敲打	qiāoda
拳头	quántou	赏钱	shǎngqián	堂客	tángke
体面	tǐmian	替换	tìhuàn	挑剔	tiāoti
痛快	tòngkuai	徒弟	túdì	下场	xiàchǎng
响声	xiǎngshēng	小姐	xiǎojiě	絮叨	xùdao
摇撼	yáohan	摇晃	yáohuàng	意见	yìjian
招惹	zhāore	折磨	zhémó	症候	zhèng hòu
支吾	zhīwú	知道	zhīdao	侄孙女	zhísūnnǚ
值得	zhíde	周到	zhōudào	周正	zhōuzhèng

非軽声語として表記されているもの。

名士派	míngshìpài	似乎	sìhū	体谅	tǐliàng
振布	zhěnbù	支撑	zhīchēng	中幡	zhōngfān
主人	zhǔrén				

結局、移行(1)の例として挙げた語は、“名士派”以下7語を除いてすべて《汉语词典》の表記と同内容になっているということである。

《汉语拼音词汇》は《修订本》の出版以前に編集されたものであるから、このことは当然の結果と言える。これらの語は日本で発行されている中国語辞典やテキストでも軽声語として表記されることが多いため、本来の声調を復活させたピンイン表記を用いることは影響が大きいと考えられる。

移行(2)の例として4に挙げた語のピンイン表記が《汉语拼音词汇》でどうなっているかを見る。

完全な軽声語として表記されているもの。

吃喝儿	chiher	船家	chuánjia	聪明	cōngming
光润	guāngrun	近视	jìnshi	面食	miànshi
生发	shēngfa				

非軽声語として表記されているもの。

松动	sōngdòng	夜猫子	yèmāozi
----	----------	-----	---------

ここに挙げた語は《修订本》ではすべて本来の声調を復活させているので、語学教育面において《修订本》に拠るとするとやはり影響が大きいと言わざるをえない。

しかし、《修订本》において完全な非軽声語になっている以上、今後は《修订本》の表記に従わざるをえないのではないだろうか。語の数自体は多くないので、近い将来的に《汉语拼音词汇》の改訂版やそれに代わるものでどのように表記されるかが注目される。

移行(3)の例として4に挙げた語のピンイン表記が《汉语拼音词汇》でどうなっているかを見る。

完全な軽声語として表記されているもの。

操持	cāochi	车钱	cheqian	程度	chéngdu
----	--------	----	---------	----	---------

非軽声語として表記されているもの。

插口	chākǒu	茶水	cháshuǐ	瞅见	chǒujiàn
景致	jǐngzhì	靠山	kàoshān	夸奖	kuājiǎng
柔和	róuhé	这些	zhèxiē		

《现代汉语词典》と《现代汉语词典修订本》  
における轻声語の扱いの変化について

ここに挙げた語は《汉语拼音词汇》ではすでに《修订本》の表記と同じになっているものが多いので、教育面での影響はあまり大きくない。これらの語は今後、非轻声語として扱うべきであろう。

ただ《汉语拼音词汇》では“车钱”のほか、“本钱”“船钱”“定钱”“赏钱”の“钱”すべてが轻声になっていて整合性がある。《汉语词典》で“chē·qián”であったものを《修订本》で“cheqián”と非轻声語にしたのはどのような理由からであろうか。

移行(4)の例として4に挙げた語のピンイン表記が《汉语拼音词汇》でどうなっているかを見る。

完全な轻声語として表記されているもの。

出息	chūxi	亲戚	qīnqi	跳蚤	tiàozao
种子	zhǒngzi				

非轻声語として表記されているもの。

缴裹儿	jiǎoguǒr	先是	xiānshì
-----	----------	----	---------

ここに挙げた語も《汉语拼音词汇》ではすでに《修订本》の表記と同じになっているものが多いので、教育面での影響はあまり大きくない。これらの語は今後、轻声語として扱うべきであろう。

移行(5)の例として4に挙げた語のピンイン表記が《汉语拼音词汇》でどうなっているかを見る。

完全な轻声語として表記されているものは一つもなかった。

非轻声語として表記されているもの。

报应	bàoing	茬口	chákǒu	惦记	diànjì
饭量	fànliàng	钢盔	guōkuī	过节儿	guòjiér
老气	lǎoqi	勒掯	lēikèn	势头	shìtóu

通条 tōngtiáo      无意识 wúyìshí      下意识 xiàyìshí  
 阵势 zhènshì

完全な轻声語として表記されているものが一つもなかったのは、《汉语拼音词汇》が《修订本》の出版以前に編集されたものであるから、当然の結果と言える。しかし、上に挙げた語の中には実際には轻声語として発音されることがあるものもあるように思われる。例えば『現代中国語辞典』（香坂順一編著）では“惦记 diànji (又) diànji<sup>6)</sup>” “饭量 fànliàng (又) fànliang” “勒掯 leikèn (又) leiken” “通条 tōngtiáo (又) tōngtiao” とある。これらも近い将来的に《汉语拼音词汇》の改訂版やそれに代わるものでどのように表記されるかが注目される。

移行(6)の例として4に挙げた語のピンイン表記が《汉语拼音词汇》でどうなっているかを見る。

完全な轻声語として表記されているものは“大少爷 dàshàoye”，非轻声語として表記されているものは“端量 duanliáng” “脾寒 pihán” であった。《修订本》で完全な轻声語になっているのだから，これらは今後は轻声語とすべきであろう。

## 6. おわりに

《汉语词典》は発行以来，中国語研究者必携の工具書と言われてきた。その改訂版である《修订本》で轻声語に関してこれだけ変化がある以上それを無視することはできない。

本稿で述べた《汉语词典》から《修订本》への移行(2)(3)は完全な非轻声語になったものであり，これらは今後は《修订本》に従わざるをえないだろう。また，移行(4)(6)は完全な轻声語になったものであり，これらも今後は《修订本》に従わざるをえないであろう。

移行(1)(5)は“因为 yīn·wèi”“夫人 fū·rén”型になったものである。ある語を轻声で発音するか否かは地域差や個人差があり、極めて難しい問題である。しかし、中国語普通話を学ぶ我々外国人には何らかの規準が必要である。《汉语拼音词汇》はそのような規準の拠り所として便利な工具書であり、これも中国語研究者必携の書と言える。中国語に対しては外国人である筆者が移行(1)(5)の語を《汉语拼音词汇》式に轻声語・非轻声語と分けようとしても、それは結局、外国人である筆者の中国語に対する勘に頼らざるをえなくなる。《修订本》が発行され、《汉语词典》から《修订本》への轻声語のピンイン表記についてこれだけの変化がある以上、《汉语拼音词汇》の改訂版またはそれに代わるものの編集が期待される。

## 注

- 1) 日本で発行されている中国語辞典の中で、『中日大辞典』（愛知大学中日大辞典編纂処編）と『50音引き基礎中国語辞典』（北浦藤郎他編著）が轻声語のピンイン表記に関して・を用いている。
- 2) ここに挙げた語のうち“夜猫子”は“子”の部分が轻声であるが、ここでは“猫”の部分が轻声から非轻声に変わったことだけを問題にする。
- 3) “这些”“那些”“哪些”のピンイン表記に関して、《汉语词典》ではそれぞれ“zhè·xiè”“nàxiè”“nǎxiè”となっていたものが、《修订本》ではそれぞれ“zhèxiè”“nàxiè”“nǎxiè”となつて、“这…”“那…”“哪…”の整合性が現われた。ちなみに“这里”“那里”“哪里”のピンイン表記は《汉语词典》《修订本》どちらも“zhèlǐ”“nà·lǐ”“nǎ·lǐ”となつていて、“这里”の“里”だけが非轻声で、整合性が見られない。言語事実を反映したものであろうか。筆者は理解に苦しむ。
- 4) “xià·yī·shí”の誤植ではなかろうか。
- 5) 3に挙げた語のうち“宾馆”は《汉语拼音词汇》に収録されていない。
- 6) 実際には、「单独使用の時は“～着”とする」として“惦记着”の

形で収録されている。

## 文献

- 《现代汉语词典》，中国社会科学院语言研究所词典编辑室编，商务印书馆，1978  
《现代汉语词典修订本》，中国社会科学院语言研究所词典编辑室编，商务印书馆，1996  
《汉语拼音词汇》（1989年重编本），《汉语拼音词汇》编写组，语文出版社，1991  
『中日大辞典増訂版』，愛知大学中日大辞典編纂処，大修館書店，1986  
『50音引き基礎中国語辞典』，北浦藤郎・蘇英哲・鄭正浩編著，講談社，1991  
『現代中国語辞典』，香坂順一編著，光生館，1982